



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 黒崎播磨株式会社

上場取引所 東 福

コード番号 5352 URL <https://www.krosaki.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 江川 和宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員総務人事部長 (氏名) 本田 雅也

TEL 093-622-7224

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	83,364	20.8	2,965	57.8	4,121	43.5	3,003	37.0
2020年3月期第3四半期	105,195	3.2	7,027	16.8	7,295	17.1	4,767	19.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 3,598百万円 (4.5%) 2020年3月期第3四半期 3,769百万円 (3.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	356.51	
2020年3月期第3四半期	565.88	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	123,370	59,309	45.7
2020年3月期	126,942	57,233	42.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 56,398百万円 2020年3月期 54,222百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		100.00		120.00	220.00
2021年3月期		40.00			
2021年3月期(予想)				90.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細は、本日公表の「配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	113,000	17.8	4,300	54.2	5,500	43.7	3,700	42.6	439.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 有 |
| 会計上の見積りの変更         | : 有 |
| 修正再表示              | : 無 |

(注) 第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しています。詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項をご覧ください。

## (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	9,114,528 株	2020年3月期	9,114,528 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	691,372 株	2020年3月期	690,843 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	8,423,418 株	2020年3月期3Q	8,424,627 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
3. その他	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの主要得意先である鉄鋼業界における当第3四半期連結累計期間の国内粗鋼生産量は、前年同四半期連結累計期間に比べ20.5%減の5,908万トンとなりました。また、2020年1～12月間の世界の粗鋼生産量も、前年同期に比べ0.9%減の18億2,914万トンとなりました。

当社グループでは、国内粗鋼生産量の減少に起因する耐火物及び製鉄所整備作業の需要減退や、ファーンレス事業での大型案件の端境期に伴う工事の受注減等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ20.8%減収の833億64百万円となりました。

損益については、売上高の減少等により、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、前年同四半期連結累計期間に比べ57.8%減益の29億65百万円、経常利益は、前年同四半期連結累計期間に比べ43.5%減益の41億21百万円となりました。また、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期連結累計期間に比べ37.0%減益の30億3百万円となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりです。

なお、各セグメントの売上高は、外部顧客への売上高であり、セグメント間の内部売上高又は振替高は含まれていません。また、セグメント損益は営業損益ベースです。

#### [耐火物事業]

売上高は、国内粗鋼生産量の減少に起因する耐火物需要の減少等により、前年同四半期連結累計期間に比べ24.2%減収の667億76百万円となりました。利益は、売上高の減少等により、前年同四半期連結累計期間に比べ72.5%減益の15億8百万円となりました。

#### [ファーンレス事業]

売上高は、製鉄所整備作業の需要減退や、大型案件の端境期に伴う工事の受注減等により、前年同四半期連結累計期間に比べ8.1%減収の101億5百万円となりました。利益は、売上高の減少等により、前年同四半期連結累計期間に比べ10.8%減益の4億70百万円となりました。

#### [セラミックス事業]

売上高は、燃料電池向け断熱材の拡販等により、前年同四半期連結累計期間に比べ11.8%増収の54億73百万円となりました。利益は、売上高の増加等により、前年同四半期連結累計期間に比べ8.5%増益の5億31百万円となりました。

#### [不動産事業]

売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ0.1%減収の6億23百万円、利益は、前年同四半期連結累計期間に比べ5.1%減益の5億3百万円となりました。

#### [その他]

売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ34.8%減収の3億84百万円、損益は、34百万円のセグメント損失(前年同四半期連結累計期間は37百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月30日に公表した2021年3月期通期連結業績予想を本日修正しています。詳細は、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、粗鋼生産量の変動による耐火物需要の変動や、耐火物原料市況の動向等により、業績予想値が大きく変動する可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,787	4,671
受取手形及び売掛金	47,539	41,033
商品及び製品	12,750	10,615
仕掛品	3,520	3,167
原材料及び貯蔵品	9,920	9,691
その他	3,579	6,802
貸倒引当金	△310	△303
流動資産合計	80,788	75,677
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	41,693	42,098
減価償却累計額	△28,956	△29,324
建物及び構築物(純額)	12,737	12,774
機械装置及び運搬具	64,208	65,794
減価償却累計額	△54,316	△54,437
機械装置及び運搬具(純額)	9,892	11,357
工具、器具及び備品	4,627	4,716
減価償却累計額	△3,754	△3,808
工具、器具及び備品(純額)	872	908
土地	6,810	6,720
建設仮勘定	2,842	2,762
有形固定資産合計	33,155	34,523
無形固定資産		
のれん	4,784	4,350
その他	523	484
無形固定資産合計	5,308	4,835
投資その他の資産		
投資有価証券	5,122	5,926
退職給付に係る資産	770	537
繰延税金資産	437	439
その他	1,531	1,603
貸倒引当金	△171	△170
投資その他の資産合計	7,690	8,334
固定資産合計	46,154	47,693
資産合計	126,942	123,370

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,579	12,507
電子記録債務	6,025	5,381
短期借入金	6,805	4,552
コマーシャル・ペーパー	9,000	6,000
未払法人税等	504	495
賞与引当金	2,752	1,257
工事損失引当金	81	82
環境対策引当金	68	79
その他	7,280	7,494
流動負債合計	46,099	37,850
固定負債		
長期借入金	18,914	20,784
繰延税金負債	56	738
役員退職慰労引当金	560	520
製品保証引当金	1	0
退職給付に係る負債	589	645
資産除去債務	25	25
その他	3,464	3,495
固定負債合計	23,610	26,210
負債合計	69,709	64,061
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,537	5,537
資本剰余金	2,000	2,000
利益剰余金	50,794	52,449
自己株式	△1,641	△1,643
株主資本合計	56,691	58,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,041	1,736
繰延ヘッジ損益	0	△2
為替換算調整勘定	△3,052	△3,273
退職給付に係る調整累計額	△458	△406
その他の包括利益累計額合計	△2,469	△1,946
非支配株主持分	3,010	2,910
純資産合計	57,233	59,309
負債純資産合計	126,942	123,370

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	105,195	83,364
売上原価	85,250	68,914
売上総利益	19,944	14,449
販売費及び一般管理費	12,917	11,483
営業利益	7,027	2,965
営業外収益		
受取利息	20	21
受取配当金	126	86
持分法による投資利益	359	349
為替差益	154	174
助成金収入	6	660
その他	228	325
営業外収益合計	896	1,616
営業外費用		
支払利息	283	181
固定資産撤去費	104	84
その他	239	194
営業外費用合計	627	460
経常利益	7,295	4,121
特別利益		
固定資産売却益	79	203
投資有価証券売却益	44	203
為替換算調整勘定取崩益	69	—
その他	0	—
特別利益合計	193	407
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	32	67
関係会社株式売却損	10	—
環境対策費	299	30
災害による損失	—	27
その他	4	3
特別損失合計	347	128
税金等調整前四半期純利益	7,141	4,400
法人税、住民税及び事業税	1,324	940
法人税等調整額	667	330
法人税等合計	1,992	1,270
四半期純利益	5,149	3,129
非支配株主に帰属する四半期純利益	382	126
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,767	3,003

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	5,149	3,129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	230	695
繰延ヘッジ損益	12	△2
為替換算調整勘定	△1,461	△236
退職給付に係る調整額	△64	52
持分法適用会社に対する持分相当額	△96	△39
その他の包括利益合計	△1,379	468
四半期包括利益	3,769	3,598
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,591	3,525
非支配株主に係る四半期包括利益	178	72

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法について、従来、主として建物並びに構築物以外の有形固定資産について定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より、定額法に変更しています。

当社は、耐火物製造・施工技術を一貫して提供する「世界第一級の鉄鋼用総合耐火物メーカー」としてさらなる飛躍に向けた経営基盤の強化を積極的に進める中で、グローバルな事業展開に伴う海外生産比率の高まりを契機に、親会社である日本製鉄株式会社との会計方針の統一の観点も踏まえて、有形固定資産の減価償却方法の変更について改めて検討したところ、当社及び国内連結子会社が保有する有形固定資産は生産設備が長期に亘り比較的安定した稼働を維持できることに加え、近年においては技術的陳腐化のリスクも少ないため、耐用年数での定額法による費用配分を行うことが経営実態をより適切に反映する合理的な方法であると判断しました。

この変更により、従来の方法に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ483百万円増加しています。

(会計上の見積りの変更)

当社は、トンネル窯の耐用年数について、従来6年としていましたが、第1四半期連結会計期間より9年に変更しています。

当社は、減価償却方法の変更を契機に使用実態を見直した結果、トンネル窯の耐用年数を9年で減価償却を行うことが、より実態に即した耐用年数であると判断しました。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微です。

## 3. その他

四半期毎の経営成績の推移

(単位：百万円)

	前期				当期		
	第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)	第3四半期 (10～12月)	第4四半期 (1～3月)	第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)	第3四半期 (10～12月)
売上高	35,342	35,497	34,355	32,200	27,524	28,147	27,692
営業利益	2,342	2,547	2,137	2,359	924	535	1,506
経常利益	2,350	2,572	2,372	2,468	1,323	904	1,894
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,498	1,667	1,600	1,677	1,051	637	1,314